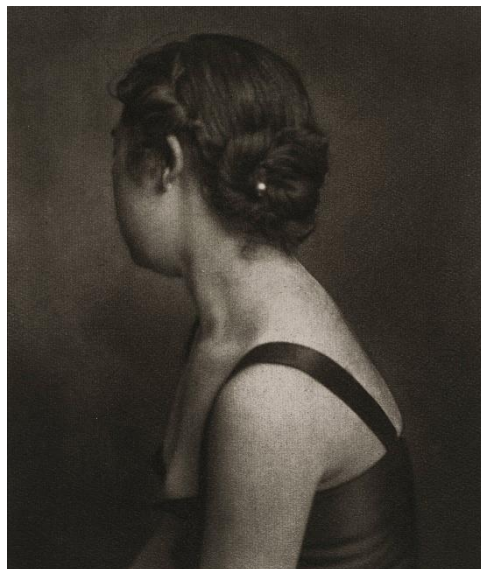
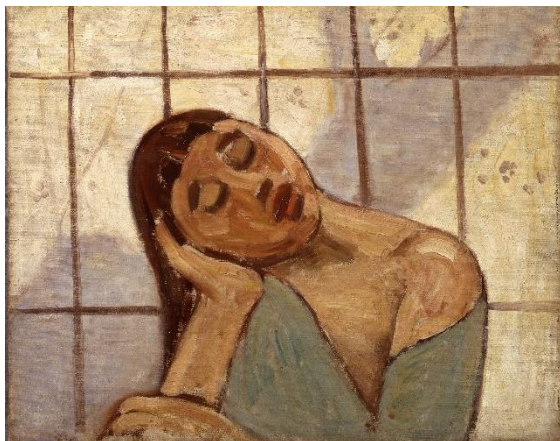


Nojima Yasuzo and Saito Yori

Hands that shape Beauty, Eyes that inspire it



野島康三と斎藤与里 ——美を掴む手、美を興す眼

2025 年 11 月 1 日（土）— 2026 年 1 月 18 日（日）

■ 展覧会概要

写真家・野島康三（のじまやすぞう／1889-1964）と洋画家・斎藤与里（さいとうより／1885-1959）。ともに埼玉県に生まれ、大正期に交流を結んだ二人は表現者として制作活動が続ける一方で、画廊経営者やコレクター、あるいは、評論家や教育者として同時代の美術を支えました。

浦和出身の野島康三は、明治末期から大正期にかけて、「芸術写真」と呼ばれた潮流のもと、絵画からの影響を受けつつも写真ならではの表現を追究しました。1930 年代には「新興写真」という新たな動向に身を置き、中山岩太、木村伊兵衛と共に刊行した『光画』誌上や国画会写真部などで作品を発表します。野島は写真家、写真館の経営者として活動する一方、1920 年代から 30 年代には多くの芸術家と交流し、自らが経営する画廊・兜屋画堂や自邸での展覧会の開催、出版物における美術品の撮影の仕事などを手がけました。

斎藤与里は加須に生まれ、京都で洋画を学びました。1906 年にはフランスに留学し、帰国後は『白樺』や『早稲田文学』などに評論を寄せながら、西洋の芸術思潮を咀嚼した作品を発表し、新傾向の美術を先駆的に紹介していきます。やがて南画などの影響のもと日本の風土に根差した油彩画を追い求め、晩年は故郷の加須に取材した伸びやかな表現を開花させました。

本展覧会では、野島と斎藤の交流を起点に、それぞれの足跡をたどるとともに、岸田劉生、萬鉄五郎、関根正二など関連作家の作品や資料を交えて、両者が美術へ注いだ眼差しにも光を当てます。評論や展覧会、出版など多岐にわたる活動を通じて同時代の美術を支えた埼玉県ゆかりの二人の作家の視点から、日本近代美術の一側面を紹介します。

■ 見どころ

1. 日本近代の写真史、美術史に足跡を残した 2 人の作家を紹介

写真家・野島康三と洋画家・斎藤与里はそれぞれ、明治後期から昭和中期にかけて先駆的な活動を展開し、独自の美を追究した作家として、日本近代の写真や美術の歴史に足跡を残しています。本展覧会では、2 人の作家の活動を、代表的な作品や資料を通して紹介します。

2. 関連作家の作品や資料を通して、同時代美術への眼差しを検証

野島と斎藤は表現者として制作を続ける一方、野島は画廊の経営者やコレクターとして、斎藤は評論家や教育者として、ともに美術の振興に貢献しました。また、斎藤は野島が経営した兜屋画堂に協力するなど、大正期に結ばれた両者の交流は、同時代美術を支えた彼らの活動にも大きく関わっています。本展覧会では、両者と関わりの深い作家の作品や資料を紹介し、両者が美術へ向けた眼差しについて検証します。

3. 埼玉県ゆかりの作家の活動を辿る、当館単館開催の企画展

浦和出身の野島康三と、加須に生まれ晩年を故郷で暮らした斎藤与里。埼玉県ゆかりの両作家の活動を紹介する本展覧会は、当館のみの開催です。野島については当館ではまとまった規模で紹介する初めての機会に、また、斎藤の活動を回顧する当館の企画展は「斎藤与里とその時代」（1990 年）以来 35 年ぶりとなります。

■ 章構成

第 1 章：新しい芸術の息吹

第 2 章：大正期美術と兜屋画堂

第 3 章：美術家との協働―野島康三の仕事から

第 4 章：清新なる感覚を求めて―野島康三とモダニズムの時代

第 5 章：斎藤与里の眼差し―私の描くものは私の主張であり、賛美である

■ 出品予定作家

野島康三、斎藤与里

梅原龍三郎、恩地孝四郎、川上涼花、岸田劉生、関根正二、中川一政、中原悌二郎、藤井達吉、村山槐多、萬鉄五郎

■ 開催情報

展覧会名	野島康三と斎藤与里一美を掴む手、美を興す眼
会 期	2025 年 11 月 1 日（土）－2026 年 1 月 18 日（日） ※一部展示替えあり 前期：12 月 7 日（日）まで、後期：12 月 9 日（火）から
休 館 日	月曜日（11 月 3 日、11 月 24 日、1 月 12 日は開館）、年末年始（12 月 30 日～1 月 3 日）
開館時間	10:00～17:30（展示室への入場は 17:00 まで）
観 覧 料	一般 1400 円（1120 円） 大高生 1120 円（900 円） ・（ ）内は 20 名以上の団体料金 ・中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料です。 ・企画展観覧券（ぐるっとパスを除く）をお持ちの方は、あわせて MOMAS コレクション（1 階展示室）もご覧いただけます。
出品点数	約 200 点
主 催	埼玉県立近代美術館、東京新聞
助 成	公益財団法人 花王芸術・科学財団
特別協力	京都国立近代美術館、加須市教育委員会
広報協力	JR 東日本大宮支社、FM NACK5

■ 会場案内

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1 TEL: 048-824-0111 FAX: 048-824-0119

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

- ・ J R 京浜東北線北浦和駅西口から徒歩 3 分（北浦和公園内）。J R 東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約 35 分。
- ・ 当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で 300 円引き、MOMAS コレクション観覧で 100 円引き）。団体バスは事前にご相談ください。
- ・ お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので事前にご連絡をお願いします。
- ・ 状況により休館および会期変更の可能性があります。ご来館前に当館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

■ 関連事業

○講演会「写真家・野島康三 静かなイノベーター」

講師 | 光田由里（多摩美術大学アートアーカイヴセンター所長・大学院教授）

日時 | 12 月 7 日（日）15:00～16:30（開場は 14:30）

場所 | 2 階講堂 定員 | 80 人（申込不要、当日先着順） 参加料 | 無料

○ワークショップ「銀塩写真の制作体験」

①「モノクロームのてざわり」（大人向け | 対象：高校生以上）

内容・引き伸ばし機を使って、ネガから印画紙にモノクロームのイメージをプリントします。

日時・1 月 11 日（日） 13：30～16：30

②「ひかりのえ」（子ども向け | 対象：小学校 3 年生～中学生）

内容・カメラを使わずに、物のシルエットや質感を直接、印画紙に写します。

とき・1 月 12 日（月・祝） 13：30～16：30

①②共通：

講師・佐野陽一（美術家）

定員・各 10 人（事前申込制、応募者多数の場合は抽選・要参加費）

ワークショップの詳細や申し込み方法は当館ホームページをご覧ください。

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | ①11 月 9 日（日） ②12 月 14 日（日） 各日 15：00～ [1 時間程度]

場所 | 2 階企画展示室 * 企画展観覧料が必要です。

※② 手話通訳、文字表示付き（協働：NPO 法人エイブル・アート・ジャパン）

■ スライド・トーク

ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します（予約制）。

お問い合わせ、ご予約は教育・広報担当（TEL: 048-824-0110）まで。

■ 同時開催

MOMAS コレクション（1 階展示室）

I 9 月 6 日（土）－11 月 30 日（日）

「セレクションーバレエ・スエドワと美術」「アーティストの絵本」「MOMAS の動物園」

II 12 月 6 日（土）－2026 年 3 月 1 日（日）

「セレクション」「MOMAS のゆるい絵・素朴な絵」

■ 図録

展覧会図録『野島康三と斎藤与里』（判型、価格未定）を当館ミュージアム・ショップで販売いたします。

■ プレスカンファレンス

2025 年 11 月 1 日（土）午後 5 時 30 分～（受付開始：午後 5 時）

埼玉県立近代美術館 2 階展示室

上記の日程で、報道関係者を対象としたプレスカンファレンスを開催いたします。

参加ご希望の方は、p2401115@pref.saitama.lg.jp（担当・佐藤）までメールでお申し込みください。その際、貴社名、お名前、参加人数、テレビカメラの有無をお知らせください。

■ お問い合わせ

展覧会担当：嶋原、西尾 ／ 広報・画像に関するお問い合わせ：佐藤

TEL: 048-824-0111（代表）／048-824-0110（学芸直通） FAX: 048-824-0118（学芸直通）

p2401115@pref.saitama.lg.jp（企画展担当）

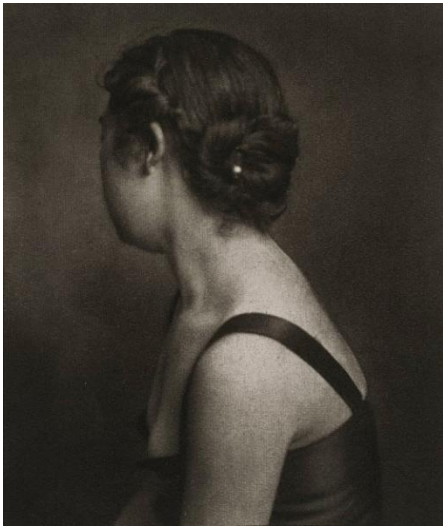
■ 広報用画像

画像のご提供については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。

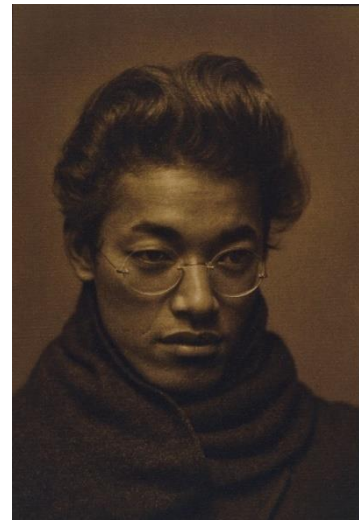
ご請求は p2401115@pref.saitama.lg.jp（担当・佐藤）まで、メールでお願いいたします。

- ・ 画像を掲載する場合は、作品のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・ 作品画像のトリミング、文字載せはご遠慮ください。
- ・ 掲載作品以外の画像をご希望の場合はお問い合わせください。

①



②



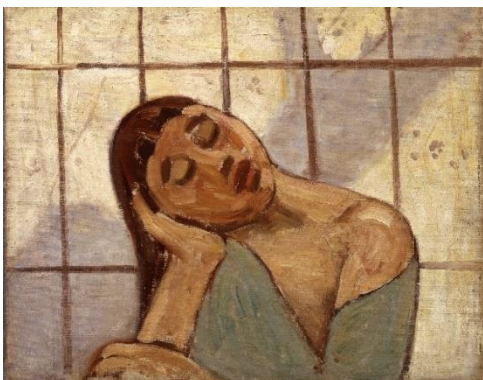
③



④



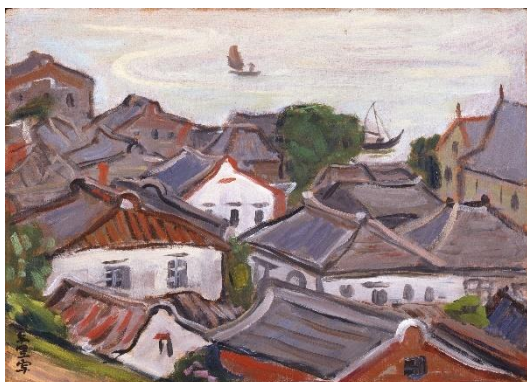
⑤



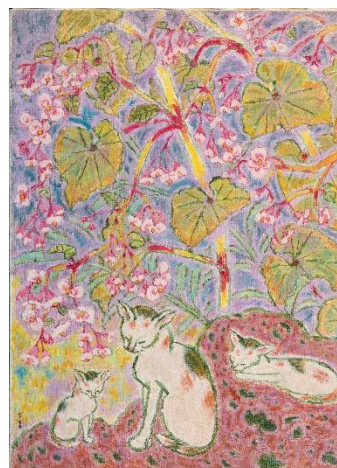
⑥



⑦



⑧

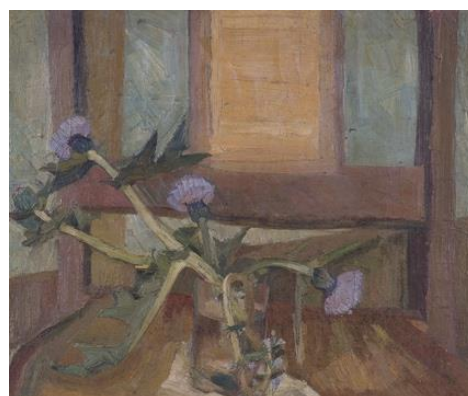


⑨



野島邸での岸田劉生の個展開催（1922 年）の後、野島が岸田から直接買い求め、愛蔵した作品

⑩



フュウザン会などで斎藤と共に活動し、野島とも親交を結んだ洋画家・川上涼花による静物画

画像キャプション

- ① 野島康三 《題名不詳》 1921 年 | ガム・プリント | 京都国立近代美術館蔵
- ② 野島康三 《S 氏肖像》 1921 年 | ガム・プリント | 京都国立近代美術館蔵
- ③ 野島康三 《慈姑の図》 1927 年 | プロムオイル・プリント | 京都国立近代美術館蔵
- ④ 野島康三 《チューリップ》 1940 年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 京都国立近代美術館蔵
- ⑤ 斎藤与里 《法々華経》 1909 年頃 | 油彩、カンヴァス | 礒山美術館蔵
- ⑥ 斎藤与里 《朝》 1915 年 | 油彩、カンヴァス | 埼玉県立近代美術館蔵
- ⑦ 斎藤与里 《台湾淡水風景》 1938 年 | 油彩、板 | 礒山美術館蔵
- ⑧ 斎藤与里 《秋海棠》 1950 年 | 油彩、カンヴァス | 加須市蔵
- ⑨ 岸田劉生 《川幡正光氏之肖像》 1918 年 | 油彩、カンヴァス | 東京国立近代美術館蔵
- ⑩ 川上涼花 《あざみ》 1914 年 | 油彩、カンヴァス | 神奈川県立近代美術館寄託 photo: sekiphotos